

# LA DOLCE VITA

海とイタリアをこよなく愛し、ワイン、アート、マリン文化に深い造詣を持つ伊藤英一氏。氏がこれまで体験してきた地中海のマリタイムの煌めきを中心に、海と食とボートに関わる彼らのライフスタイルを語る。

text & photo: Eiichi Ito

#54

## 僕のイタリアンヒーロー達

### Carlo Riva カルロ・リーバ

僕にとってのイタリアンヒーローの一人は、僕のライフスタイルに多大な影響を与えてくれたカルロ・リーバだ。世界最高峰と言われるイタリアのボートビルダー Riva を世界に知らしめ、現在の Riva の興隆の基礎を作ったのがカルロである。20 ~ 30 フィートクラスの世に出たランナバウトは多種に上り、カルロの時代に販売されたマホガニー艇は1,400 艇にも上る。まさに Riva 製マホガニーボートが一世を風靡した証だ。

僕は1980年代から Riva を数艇乗り継いでいく中で、ごく一部ではあるが Riva の歴史に関わってきた感がある。20年以上前の事

になるが、リーバ本社でカルロと会話を交わす機会があった。その時僕は Riva 2000 と言うヴィンテージ物の38フィートを持っていて、その写真を見せると大変喜んでくれたのを今でも忘れる事が出来ない。最近リーバ本社を訪れると歴代の大型模型展示室に Fiat 500 Riva モデルが2台展示されていた。カルロは Fiat 好きでも知られていた。彼は現在の興隆を見届けて2017年94歳でこの世を去った。

### Enzo Ferrari エンツォ・フェッラーリ

フェッラーリ創業が僕の生まれ歳と同じということもあって、車好きな僕として常に人生をともして来た感がある。エンツォはレース界で成功の後、米国への Ferrari 販売でも成

功するが、彼自身はレース以外には Ferrari の市販車には興味がなかったと言われている。やはりエンツォは生涯レースに生きた男であり、世界の自動車業界及びレース界に多大な影響を与えたイタリアンヒーローの一人であった。

親しくしている Ferretti グループホールディングスの CEO から昨年写真と映像が送られて来た。エンツォの子息で現フェッラーリ副会長ピエロ・フェッラーリが50m (165フィート) の Riva 所有者となりヴェネツィアで盛大なお披露目を行なった様子が華々しく映し出されていた。Riva を含むフェレティ・グループのホルダー会社は Ferrari の株主でもあり Riva との関係は深い。



©RAM

モンテカルロのマリーナを背景に、モナコ公アルベール2世と生前のカルロ・リーバの貴重な2ショット。2人が持っているのは「ヨットクラブ・ド・モンテカルロ」のクラブ旗だ。アルベール公は幼少の頃から父であるレーニエ大公の操縦する Riva Aquarama が好きだったという。マリーナの一角にはカルロの娘リナが経営する「モノポートサービス」があり、専用のポンツーンには写真にも映るように何時も多くの Aquarama が係留されている。



イゼーオ湖畔サルニコの Riva 本社マリーナに係留されている Iseo。クライアントが試乗すると言う。僕も遙か昔と同じ場所に立って、43Tropicana の試乗をした事が昨日の様に思い出された。Riva 造船所は何か所もあるが、どこに行ってもシンボルマークの様にリーバカラーの T 型クレーンが立っている。この建物の屋内には歴代 Riva の 10 分の 1 スケールモデルがズラリと展示されている。その一番奥に往年の Riva Ferrari と共に、Fiat 500 Riva モデルが2台並んでいた。その風景に不思議と感動を覚えた。車をリーバカラーのクレーンにしっかりとロープで繋がっているのには思わず笑みがこぼれた。



つい先月首を長くして待っていた Ferrari の展示会で最新モデルに触れる事が出来た。その名は Roma。豪華なプレゼン資料に描かれたサブタイトルは、フェデリコ・フェリーニ監督映画の題名に「新」を加えた「La Nuova Dolce Vita 新・甘い生活」である。映画はローマのブルジョワ達の退廃的で甘美な生活を綴った傑作であるが、新作 Roma はそのモノクローム映像を彷彿とさせるグレーを身に纏っている。当時の自由なローマのライフスタイルを具現化したと言う。デザインコンセプトも映画同様 1950 ~ 60 年代



展示された Roma はフェッラーリカラーの赤だが、背面の壁全体に表現されたローマ市内に溶け込む様なグレーの Roma に魅力を感じた。カタログによると Roma に搭載された V8 ターボエンジンはインターナショナル・エンジン・オブ・ザ・イヤーを4年連続で獲得しているパワーユニットとの事。620cv/7500rpm、最大トルク 760Nm、3,855cc、0-100km3.4秒、最高速 320km/h 以上のデータが記述されている。「La Nuova・Dolce Vita 新・甘い生活」と謳われた Roma は「時代を超越したエレガンス」とも表現された。

のカーデザイン黄金期のデザインを彷彿とさせるロングノーズにショートデッキタイプのファーストバックである。僕は RIVA にしろ Ferrari にしろその当時のデザインに惚れ込んでいる。Roma は 2020 年イタリアの雑誌で最優秀デザイン賞を獲得した。「Roma は GT のクラシカルなラインを再解釈し、官能的で心に訴える最先端のデザインを 21 世紀に蘇らせた」と絶賛された。エンツォが生きていたらこの Roma をどう評価するのか興味あるところだ。近日中に Roma のハンドルを握る機会が有るとの事で、大いに楽しみにしている。

### Giovanni Carlo Francesco Agnelli ジャンニ・アニェッリ

かってイタリアの知人友人との交友の中で元 Fiat 会長アニェッリの話を聞く事がよくあった。おそらくイタリアの一時代を作ったイタリアで最も愛された一人だったと思う。

Fiat 王国を築いたアニェッリはイタリアのみならずヨーロッパを代表するファッション・アイコンかつプレイボーイとしても名を轟かせた。イタリアの友人が一つのエピソードを教えてくれた。チャーチル長男の妻との不倫が発覚した時、マスコミは「第二次大戦の仇をとった」と好意的に報道したと。アニェッリは歳を老いても「抱かれない男」の上位に毎年

年選出されたという。僕がイタリアで作った Y シャツの襟は「アニェッリ・カット」だし、袖をジャストフィットにして時計を袖の上からつけたりとアニェッリスタイルを実践している。コモ湖近くで生産される世界最高峰の生地「カルロリーバ」のリーバカラーでつい最近作った Y シャツもアニェッリスタイルだ。彼が何時も愛用した靴はドライビング・シューズやブーツだった事も知られている。僕も若い頃からアニェッリのファッションに影響され、今でもドライビング・シューズとブーツを愛用している。一つ違うのは僕の場合はジーンズに合わせるが、彼はスーツに合わせていたとは流石だと思っている。

アニェッリ亡き後も Fiat 王国は次の世代に受け継がれ、アニェッリ一族の持株会社エクソールを通じてフィアット・クライスラー・オートモビルズとして Ferrari、エコノミスト誌、イベントス FC 等を有し、世界の同族企業ランキングでウォルマート、フォルクスワーゲン等に次いで世界4位を誇っている。彼も Ferrari と Riva を愛した一人であった。P.B.

### Profile

#### 伊藤英一

事業家。ボート歴は 10 代から既に半世紀以上。欧米の多くのリゾート地を訪れ、その土地の食やワイン、アート、音楽等に触れることを至上の喜びとしている。RIVA と RIB の熱烈な愛好家。